



「あくび」をすると、なぜ「なみだ」が出るの

顔の筋肉がきん張するため

上まぶたの外側に、「涙腺」という、なみだをつくったり、ためたり、出したたりするものがあります。なみだは、いつも目の表面を流れて、ごみを取ったりしています。

「あくび」をすると、なみだが出てくるのは、大きく口をあけるため、「涙腺」のまわりの筋肉がきん張して、おさえつけられ、なみだが、しぼり出されるためです。

もう一つは、「あくび」をすると、顔の筋肉がきん張するため、目と鼻の間にある「涙のう」という、なみだを鼻に流すところの口がとして、なみだが流れなくなって、あふれ出てくることと、涙のうにたまっていたなみだが、しぼり出されるためです。

うれしいときのなみだも同じ

うれしいときにもなみだが出ますが、これも、顔の筋肉がきん張して「涙腺」をおさえつけるため、なみだがしぼり出されてくるからです。（監修・保志 宏）

